■大山デブ子　　喜劇俳優。肥満を逆手にとって名物的存在となった。
おおやまでぶこ
21ヶ条要求・1915＝　　　奈良市で，興福寺の僧侶神原清三郎・ハナの四女に生まれる。本名ヤス。

原敬首相暗殺1921＝ 6歳：
大阪府の小坂小学校に在学中，

護憲三派圧勝1924＝ **9歳：_姉が松竹下加茂撮影所に入社，橘喜久子の芸名でデビューのに従い，野村芳亭監督「元禄女」に子役として出演，下加茂に入社するが閉鎖となり，姉らとともに蒲田撮影所へ移り，蒲田デブ子を芸名とする。**

金融恐慌・・1927＝12歳：***姉とともに松竹を退社。大和映画を経て河合プロ(のち河合映画と改称)に入社，大山デブ子と改名。肥満型の大女で，巨漢俳優大岡怪童とともに名物的存在となり，2人のコンビで，数多い共演作品が作られる。**

満州事変・・1931＝16歳：

国際連盟脱退1933＝**18歳：**
_河合映画が大都映画となってから一層本領を発揮，200本の映画に出演する。そのほとんどが三枚目的な役柄であったが，彼女がスクリーンに映っただけで観客が沸くというほどで，

日中戦争始・1937＝22歳：

第二次大戦始1939＝24歳：***ついには，「紙芝居と兵隊」「姉に泣く」「新妻」「涙の小舟」など，年間22本もの映画に出演するに至るが，この年，脚本家伊勢野重任と恋愛結婚すると，**
日米開戦・・1941＝26歳：***退社し，夫の郷里松山市に落ち着く。**
・・・・・・1942＝**27歳：**
稲垣浩は「日本映画の若き日々」の中で「伊勢やんの妻君大山デブ子さんは，大都映画の喜劇女優で芸名どおりの大型で，劇中では男共を掴んでは投げ，ちぎっては投げるという大暴れで観客を大いに笑わせたものだったが，家庭に入った彼女は良妻賢母の鑑だと聞いた」と書いている。夫婦の間には2人の男子がいた。
敗戦・・・・1945＝30歳：

独立回復・・1951＝**36歳：**

安保闘争・・1960＝**45歳：**
寺山修司に寵愛され，
全国総合計画1962＝47歳：彼の初の実験映画「檻囚」の撮影を受け，

東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ 1964＝49歳：公開された。

全共闘ﾋﾟｰｸ・1969＝**54歳：**

石油ショック1973＝58歳：糖尿病と高血圧のため入院や通院を繰返すようになり，

成田衝突・・1978＝**63歳：**
革新大敗北・1979＝64歳：緑内障を併発して失明，

・・・・・・1981＝66歳：慢性腎不全のため**_没した。**